

“夏の足工” 伝統校のプライドを胸に

ASHIKAGA TECHNICAL High School Baseball Club News

OCT 2016 Vol. 7

10月は中間テスト、修学旅行などの学校行事が続き、全部員が揃っての活動は制限された1ヶ月でした。そのため個々のレベルアップに主眼を置く活動が中心となりましたが、そのような状況の中でも1年生大会が実施されました。今回もたくさんの応援を頂いたことに感謝しています。

しかし結果は、青藍泰斗を相手に0対4での敗戦。10人の部員で頑張ったことは確かですが、大きな実力差があったことも事実です。普通にやっているだけでは、決して埋まらない実力差を選手は肌で感じたのではないのでしょうか。現在の立ち位置を理解して、この敗戦を糧に、また努力したいと思います。1年生には、この時期の貴重な経験を今後に生かして欲しいと期待しています。

そして、10月23日（日）には栃木県開催の関東大会を観戦しました。試合も横浜高校 vs 浦和学院、健大高崎 vs 明秀日立という好カードとなり、外野席まで観客が埋まる盛況ぶりでした。春の選抜出場を懸けた戦いはレベルも高く、選手にとっては漠然とした甲子園出場という目標が、実際にどれだけの実力をつけなければならないか、具体的にイメージする良い機会となったはずです。心技体すべての面で成長する必要がありますが、来春には足利工業が、あの舞台上でプレーできるよう頑張りたいと思います。

また、11月20日（日）からは、今シーズン最後の大会となる秋季市内大会を控えています。新チームで臨んだ県大会では、悔しい敗戦を喫しました。奇しくも、相手は同じ白鷗大足利となりますが、県大会での借りを返すべく、この一戦を決勝戦のつもりで臨む所存です。今大会も意地と意地のぶつかり合う、ハイレベルな戦いが繰り広げられることは間違いありません。笑顔で今シーズンを締め括れるよう、部員一同、日夜グラウンドで練習に励んでいます。選手の全力プレーに温かいご声援をお願いします。

